

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

[聖句]喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)

発行／総合福祉施設園
御殿場十字の園

施設長 宮島克利

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1

TEL 0550-83-1999

FAX 0550-82-5189

<http://www.jyuuji.ne.jp>

e-mail:info@g.jyuuji.or.jp

印刷／岳麓印刷株式会社

2017
No.213



2017年4月11日 お花見・江戸彼岸桜

こそ
去年の春 逢へりし君に恋ひにてし 桜の花は迎へけらしも

去年の春お逢いしたあなたに恋焦がれ、桜の花はこの春も美しく咲いてあなたをお迎えしたのですよ
(万葉集 若宮年魚麻呂)

十の園に勤めて四二年、理事長に就任してからは一八年になりました。この私が七月で七〇歳の古希を迎えます。古希とは杜甫の『曲江詩』にある「人生七十古来稀なり」に由来します。古来稀な歳になつた実感はあります。気力はありますが、確実に体力は落ち、持続力がなくなり、冒険心・チャレンジ魂が弱まっています。所謂、「寄る年波」の症状が出てきました。そろそろ次の世代にバトンを渡すときがきたのでしよう。

私の使命は、「キリスト精神に立った」十の園を次世代に継承することです。幸いにも、聖隸や十の園の先輩たちと一緒に働き、その後ろ姿を見て学ぶことができました。見て知つて、感じたことを本にまとめ『創立の精神の継承』と題して出版します。「人がわたしにつながつており、わたしもその人につながつていれば、その人は豊かに実を結ぶ」。これが極意であり継承するすべてです。

イルド

理事長 平井 章

「抱え上げ介護」の禁止をを目指して

御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

福祉とは「人がより幸せになるための努力のプロセス」と、間接的ではあります。が一番ケ瀬康子氏（元日本女子大名誉教授）より学んでから、それが私にとって福祉の定義になつていま。完成といふことはなく、生活環境や社会情勢とも深く関連し、常に努力する過程の中にあつて、変わつていて、べきものと、いふことです。

この福祉といふ文字には、「社会」がつけば社会福祉であり、「高齢者」がつけば高齢者福祉、「障がい者」がつければ障がい者福祉となりますが、いずれも、法や制度などですが度々改正され、向性なども、これで完成と良くしようと努めています。

介護福祉においても、私が就職したころから約二十年で随分変わってきました。特養では、集団ケアから個別支援を目指したユニットが主流となり、また、単なるお世話型の介護から介護用品も昔あります。介護用品も昔あります。

そしてここ最近、新たに変わつていかなければなりません。思つたことがあります。それは、抱えて行つて、移乗介助です。



今年の二月に十字の園の上野副理事長など三名の職員が海外研修としてオーストラリアに行かれ、その中で衝撃的だったのは、オーストラリアでは、利用者は法律で抱え上げての介護は、法律で抱え上げての介護は、法律で抱えられます。介護用品も昔あります。

福本（元日大名誉教授）より学んでから、それが私にとって福祉の定義になつていま。完成といふことはなく、生活環境や社会情勢とも深く関連し、常に努力する過程の中にあつて、変わつていて、べきものと、いふことです。

この福祉といふ文字には、「オムツ」の種類や機能も多様化かつ向上して、使い勝手もよくなりました。昔から比べるとベッド上で手にオムツ交換することよりも、その人に適したオムツを選び、可能な限りトイレでの排泄を目指すことが重要になつてきました

二〇一七年一月よりデイサービスでも機能訓練を開始いたしました。今までとは違った環境でお仕事をさせていただけとなり、ご迷惑をおかけする日々ですが、デイサービスを利用される方々やスタッフの笑顔に支えられ三ヶ月が経ちました。はじめは、「何をする人？」という視線でしたが、最近は「体操をする人」という印象を持つていただけているようです。

集団の中でも、一人一人を評価し日常生活動作の改善に結びつけられるよう取り組んでまいりますので今後ともよろしくお願ひいたします。



当施設では関節可動域練習・筋力強化などの身体機能訓練、座位・立位保持・食事動作などの日常生活活動の訓練・評価・輪投げ・風船バレーなどのレクリエーション、口腔体操などを主にさせて頂いております。リハビリやレクリエーション後の「ありがとう」という言葉と皆さんの素敵な笑顔を見る事が最大の喜びだと思います。技術的にも精神的にも至らずご迷惑をおかけすると思いますが、日々勉強と皆さんの笑顔をモットーにこれからも頑張つていきますのでよろしくお願い致します。

「デイサービスでも機能訓練を始めました」

看護室（デイサービス勤務）
機能訓練指導員・作業療法士
橋本 知美

ので少しでも歩きやすくなってきた、日常生活の動作がやりやすくなつてきたと感じていただければ幸いで

ます。

転倒予防への取り組みとして筋力向上だけでなく、足を動かしながら頭を使う「脳足トレーニング」も行っており、障害物をよける、またよけるための速度調整を行えるようアプローチをしております。

体操を通して、姿勢へのアプローチを行っております。

当施設では関節可動域練習・筋力強化などの身体機能訓練、座位・立位保持・食事動作などの日常生活活動の訓練・評価・輪投げ・風船バレーなどのレクリエーション、口腔体操などを主にさせて頂いております。リハビリやレクリエーション後の「ありがとう」という言葉と皆さんの素敵な笑顔を見る事が最大の喜びだと思います。技術的にも精神的にも至らずご迷惑をおかけすると思いますが、日々勉強と皆さんの笑顔をモットーにこれからも頑張つていきますのでよろしくお願い致します。

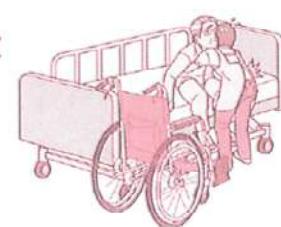
看護室（看護勤務）
機能訓練指導員・柔道整復師
福原 唯

昨年の七月より御殿場十字の園で機能訓練士をさせて頂いております柔道整復師の福原と申します。昨年の三月に専門学校を卒業し初めての職場で不安な事も多いですが、施設に入居されているいらつしやる方々、職員の皆様に支えられ日々過

うことです。以前から日本でも、労働安全衛生の面から人力のみで抱える場合の重量に、成人男子は体重の四〇%以下に努め、女子は男子の六〇%ぐらいまでとします。とは言え、介護では相手は人であり、その人の力を生かして介護をします。

その為、負荷される重さは単純には量れず、また、現実的に難しいこともあります。そうした基準は努力目標としてうやむやになってしまいます。もちろん、腰痛予防対策として、利用者によっては二人介護をルール化したり、ボディメカニックスを活用したり移乗介助の研修を重ねたりはしてきました。しかし、「禁止」というには至っていないのが現状です。

時を同じくして、今年三月に厚生労働省より中央労働災害防止協会からの「高齢者介護施設における雇入アール」が発出されました。その中に、人力での抱え上り改善に向け取り組み始めたところでした。課題ではない方のベと始まりました。



中央労働災害防止協会マニュアルより

ツドからリクライニング車いすへの移乗、車いすからトイレへの移乗、浴槽からの出入りなどの介護がハイリスクとして挙がりました。しかし、半年ほどが経ち最近再評価したところ、スライドボードなど介護用品を試行的に導入するも、依然ハイリスクのままでした。改めて、これからは「抱え上げ介護」の禁止に向かう時代であり、そしてそれが不可能ではないこととして、私たちも一層加速して取り組んでいくべきことだと思います。その為には、介護リフトなどの設備や備品の整備を進めつつ、職員の意識も変わっていかなければならぬことでしょう。

地域包括支援センターは、御殿場地区の高齢者が住みなれた地域で長く生活できるよう、御殿場市と協力して環境整備をしたり、高齢者の実態把握をしています。そのため、区サロンや老人会、地域の行事に参加しています。まだ全区では開催していませんが、御殿場市で介護サポートを養成し、サポートセンターが中心と

いすへの移乗、車いすからトイレへの移乗、浴槽からの出入りなどの介護がハイリスクとして挙がりました。しかし、半年ほどが経ち最近再評価したところ、スライドボードなど介護用品を試行的に導入するも、依然ハイリスクのままでした。改めて、これからは「抱え上げ介護」の禁止に向かう時代であり、そしてそれが不可能ではないこととして、私たちも一層加速して取り組んでいくべきことだと思います。その為には、介護リフトなどの設備や備品の整備を進めつつ、職員の意識も変わっていかなければならぬことでしょう。

設置され、御殿場十字の園は御殿場地区を担当しています。御殿場地区の高齢者は、平成二十八年三月末で七千七百人を超えてい

る。ここには、地域包括支援センターが、地域で活動していきます。

なつて「元気になろう会」を毎月開催しています。御殿場市で作つた「元気操」やストレッチなどで2時間ほど汗を流し、地域で元気な高齢者を増やす活動を広げるため、毎月参加しています。

なれるよう、積極的に地域活動に参加します。これらも、地域包括支援センターをよろしくお願い致します。

ここにちは地域包括支援センターです！

杉崎 由宗

力して注意喚起やクーリングオフなどの対応をしています。

地域包括支援センターには、「足腰が弱ってきて転ぶのが心配。外出もしなくなってしまった。」「買物に出かけるが、同じものを買つてしまふ。冷蔵庫の中が賞味期限切れのものでいっぱい」など相談を受けます。相談を受けたら、ご本人の状態を確認するため訪問させていただき、状態に合ったサービス調整や社会資源を紹介します。また、定期的に訪問していると、

電話や訪問販売で必要な工事をしたり、高価なものを購入していることがあります。消費生活センターと協



特養トピックス



すみれ・すずらん

★真っ赤ないちごをもう一度 渡邊秀美

渡邊秀美

ひばり

★ひばりカフェ・表彰式 土屋俊樹

ケアハウス

癒しのチャロ演奏 鬼塚歩

ひばりユニットと合同で、華山のいちご農園へいちご狩りに行ってきました。真っ赤で甘くて大きないちごを目の前にして、お出かけした皆さんだけではなく職員も一緒になつて、すべてを食べつくすとばかりにお口に頬張つて堪能しました。お腹いっぱい食べて帰つてきてからも、そして月日が経つても「あの大きないちご美味しかったね。初めてだ」と何度もいちご狩りに行つた話をして下さり印象深く感じました。

また素敵なお出かけ企画して皆さんのが顔を増やしていきたいと思います。

ひまわり

★フルーツどら焼きパーティー 前田理沙

三月九日の午後のおやつの時間にフルーツどら焼きパーティーを行いました。食材を切つたり、ホットケーキミックスの生地を混ぜたりする作業をお手伝い頂き、終始賑やかな雰囲気の中で調理が進みました。職員がホットプレートで焼いた生地をひっくり返す際には皆さんから「わー!」「上手ね。」と歓声が上がりました。焼きあがった生地にお好みのフルーツ・餡子・生クリーム・チョコレートソース等をトッピングしてサンドし、見た目も味も大満足の出来上がりとなりました。

四月四日、ちどりユニットでは江間の大富農園にいちご狩りに行きました。天候にも恵まれ最高の外出日和でした。真っ赤で大きないちごを手に取ると「わー! 大きないちご! ー」と大喜びでいちごを頬張つっていました。「また、行きたいね」といつた言葉を頂き、普段の生活ではあまり見ることの出来ない様々な表情を見ることができました。今後も素敵なドライブ外出を計画していきたいと思います。



かなりあ

★春のいちご狩り 安田千春



新年度も始まるということで、三月に開催したひばりカフェにて職員から皆さんに一年間の感謝の気持ちを込め賞状をお送りさせて頂きました。「ムードメーラー賞」や「お手伝い賞」などその人に合った賞を考え、一人一人に読み上げ贈呈しました。どんな賞を貰ったのか皆さんとの間で話が盛り上がり、とても嬉しそうにされていました。その後はケーキを食べコーヒーや紅茶を飲みながらお話をしても嬉しく感じました。

また皆さんはイベントと一緒に楽しむ時間を過ごしました。皆さんと一緒に楽しむイベントを企画していきたいと思います。



今年の春は肌寒く、桜の開花も遅れ、雨が多い年でもありました。春のいちごも満開。一日散で食べはじめ、手も口の周りも真っ赤になり全身いちごで染まつた。皆さんのお声が通り、音楽を通じて、音楽の不思議な力に改めて魅了された演奏会でした。

今年の春は肌寒く、桜の開花も遅れ、雨が続くと何となく気分も今ひとつ。そんな時、ケアハウスの親睦会の為にはるばる遠方からボランティアの方々が、チャロの演奏に来て下さいました。人の声に近いと言われるチャロの落ち着いた音色が、ゆうかげホール（一階食堂）に響きだすと皆さん

の顔色が変わりました。目を閉じてしっかりと聞かれる人、見つめてじっくり聞かれる人、その姿に演奏者も緊張したそうです。美しい音色に包まれ職員もケアハウスの皆さんもからだの奥まで癒されたと思います。

いつまでも心地良く頭に残るチャロの響きに大きな拍手が沸きました。

今では植物や動物もクラシック音楽を聞かせて育てている話を聞きます。生の演奏を体験して、音楽の不思議な力に改めて魅了された演奏会でした。

デイサービス ○季節感を取り入れたイベント 橋本康恵

御殿場ディサービスセンターでは季節に応じたイベントを行っております。昨年末にはクリスマス会を行い、職員による音楽演奏とスコップ三味線を披露することができました。その際には皆さんとハンドベルを奏で、またスコップ三味線の演奏を楽しんできただくことができました。

二月三日の節分のイベントは、園長の赤鬼と鬼による一人羽織り。その後皆さんにはティッシュで綺麗に作つた豆と本物の大豆の福豆を鬼に向けて撒き、鬼退治をしていただきました。「今年一年ディサービスに元気で通えるように」と願をかけ寒い冬とお別れをして、暖かい日差しが感じられる季節がまた巡ってきました。皆さんに季節の移ろいを感じながら、安全に楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。



くろっちょ

◎手芸作品作り

伊倉葉子

ここ最近、くろっちょでは手芸作品作りが空前のブームとなっています。熱心な方は四作品目、五作品目と途切れることなく作品を作つていらっしゃいます。始まりは「きめこみ」と呼ばれるパッチワークのように布を組み合わせ季節の風景や動物、キャラクターなどを形作つていく物でした。布を一切つてピタツと綺麗におさまたった時の気持ち良さ、そして苦労して創り上げた作品が贈り物として喜ばれるなども皆に受け入れられた理由かもしれません。職員も少しすつ手伝わせられました。面白さや達成感を感じさせています。くろっちょ室内や廊下にて自慢の作品を飾らせていただけますよ。



ふじざくら

◎春の手作りおやつ

小野真樹

ひなまつり・お彼岸にちなんで、さくら餅・おはぎ作りをしました。さくら餅は婦人部(ふじざくら)を利用してください女性の皆さん)が生地作り、男性にはあんこを丸めてもらいました。この日ふじざくら利用の男性は職人さんであつたためか、とても丁寧に黙々と作業を行つたのが印象的でした。皆で生地をホットプレートで焼き、生地・あんこ・桜葉を使って最後は個々に形成し、オリジナルのさくら餅を楽しみながら食べました。

おはぎは婦人部の皆さんのが手際よくあつという間に、あんこ・きなこの二種類仕上げてくれました。おはぎ作り初心者の私に「俺つち嫁はダメだなー」と笑つて教えてくれました。恥ずかしかつたのですが、なんだかホッコリした気持ちになりました。次は何を教えてもらいましょう。



ショートステイこすもす ○春のドライブ外出 秋山真澄

毎年計画される春のイベントとして、今年は富士霊園の桜を観に行きました。

春真っ盛りというのにこの日は少し肌寒く、車から降りず車内からの鑑賞に切り替えました。窓越しの桜となりました。が、その美しさに皆さん感動していました。



さくらを愛でた後はお腹を満たさなければ、昨年七月にオープンした田子の月プロデュースの和菓子専門のカフェ「葉寮 富士山御殿場本店」にお邪魔しました。一面のガラス張りで窓の外の春の移ろいを感じながら、ゆったりのんびりと和スイーツを堪能しました。そしてまた家族へのお土産も、一つ一つ試食をしながらお買い物。あつという間の一日でしたが、目もお腹も十二分に春を満喫し楽しい時を過ごすことができました。

〈ボランティア紹介〉

御殿場高等学校 車椅子修理 ボランティア

一月二十一日土曜日に、今年も御殿場高等学校の生徒さん達が車椅子の修理に来てくださいました。情報システム科のシステム部エコラン班の皆さんです。修理機材を運び込み、床に座り込んで黙々と手際よく一台一台修理・整備をしてくださいました。建物の中とは言つても季節は真冬。全面フローリングの施設の床での作業には本当に頭が下がります。

車椅子利用者にとって整備してくださった車椅子が容易く動いてくれる。これは何ものにも代えがたい『喜び』です。

本当にありがとうございます。

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

2月分

沼津教会、長田豊吉、井上末男、中島善子、山田泰子
ご遺族

3月分

ロツキーイワタ、匿名、玉穂報徳会、山崎れい子、搜真女学校高等学部・中学部、日本キリスト教団御殿場教会、西村正子、筒井昭子

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

2月分

アドナイ館、厚生年金婦人部、藤原節乃、秋葉絹子、杉山英子、渡辺弘子、芹澤菊枝、琴路、隆生会、野木和子、モラージー女性部、市婦連福祉グループ、神保久美子、春風一郎、藤原節乃、勝又ツヤ子、秋葉絹子、杉山英子、藤江静子、野木和子、印野はざまの会、勝又美和子、御殿

場教会、御殿場赤十字奉仕団、日置富貴子、図書館お話しの会、春風一路、鈴の会、中里京子、勝又えつ、関根保子、さとうメディカル、金子克己、隆生会、加藤正代、中曾根靖枝、スコップ三味線KSSG、市婦連福祉グループ、野木須美子、コスマロール

3月分

厚生年金婦人部、アドナイ館、勝又ツヤ子、藤原節乃、杉山英子、秋葉絹子、中里京子、渡辺弘子、芹澤菊枝、琴路、隆生会、御殿場赤十字奉仕団、ジーフェスティバル女性部、市婦連福祉グループ、神保久美子、春風一路、関根保子、鈴の会、勝又えつ、野木須美子、日置富貴子

カラオケマシンをリユースしました

カラオケを楽しむ方が増え、機械の使用頻度が高くなつてきました。そこで第一興商さんと相談し、利用限度を過ぎた機械を入れ替えさらに一台増設しました。

二台とも移動可能な機器ですでの施設内何処へでも持ち運んでカラオケ大会を開催できるようになりました。

通信カラオケ装置は定期的に電話回線と接続して著作権使用カウントを送り出し、同時に新譜データーを取り込みます。そのため利用場所、利用者・事業種別等の情報をJASRAC(日本音楽著作権協会)に登録するため、利用開始まではしばらく時間を頂くことになりましたが、これから充分に活躍してくれることでしょう。

車両を導入

しました

御殿場十字の園運用の公用車は総数二十九台あります。安心安全に利用できる

よう整備等を行つておりますが、長期に渡つて車両を運用していくと整備工場から「劣化部品の供給が終了したため、これ以上の修理、部品交換が困難です。」と

いう連絡を少なからず受け取ります。今回十七年間走り続けてくれた居宅支援事務所利用のアベニールが修理部品等払拭により、これ以上

の安全運用が難しく、入れ替えることとなりました。代替車両としてアルトを導入しました。小回りの効く車両ですので先代以上に働いてくれると思います。

あとがき

この時期「自動販売機のお汁粉が欲しい」と言われますが季節限定品のため春の訪れと共に姿を消します。

自動販売機で春を感じるのは悲しいですが、お汁粉缶製造の旬は八月、食材の「はしり」とは程遠いです。先日、俳優松重豊さん演じる『孤

独のグルメ』主人公・個人貿易商『井之頭五郎』が新宿区淀橋青果市場の食堂で朝御飯を食べていました。

生姜焼き定食に添えられたのは蜆汁。蜆汁は蜆の旬にあわせて春の季語です。食は旬にあり。それを先人は俳諧連歌で教えてくれています。今年の春をこの機関誌に乗せてお届けいたします。

(やまもと)

(やまもと)

御殿場十字の園へのご寄付	
2月分	5件 365,000円
3月分	8件 155,384円
H28年4月~H29年3月 累計 86件 2,783,384円	
ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。	
郵便振替口座 口座番号 00870-9-190162 口座名称 社会福祉法人十字の園 御殿場十字の園	
ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。	

